

産地化取組事例

ムラサキ(紫根)の栽培

2019年10月29日
地域説明会(北海道・札幌)

当別薬用植物栽培研究会

薬用植物栽培のスタート

- **朝日新聞グローブ(2011-5-15)**

新規農産物の可能性(付加価値・差別化)

- **薬用植物専門部会**

北海道医療大学(薬草園)、夕張ツムラの視察

- **薬用植物に関する勉強会**

薬用植物栽培の現状、栽培実験

ムラサキの種子の配布(2011-11)

種子提供: 北海道医療大学

ムラサキ(紫根)の栽培

発芽4月 → 定植6月 → 開花7～8月 → 収穫10月



なぜ「ムラサキ」か？

- **栽培の可能性**

既に地元で栽培されていた

- **日本古来の薬用植物**

伝統的な染料・医薬品（紫雲膏）

- **絶滅危惧種**

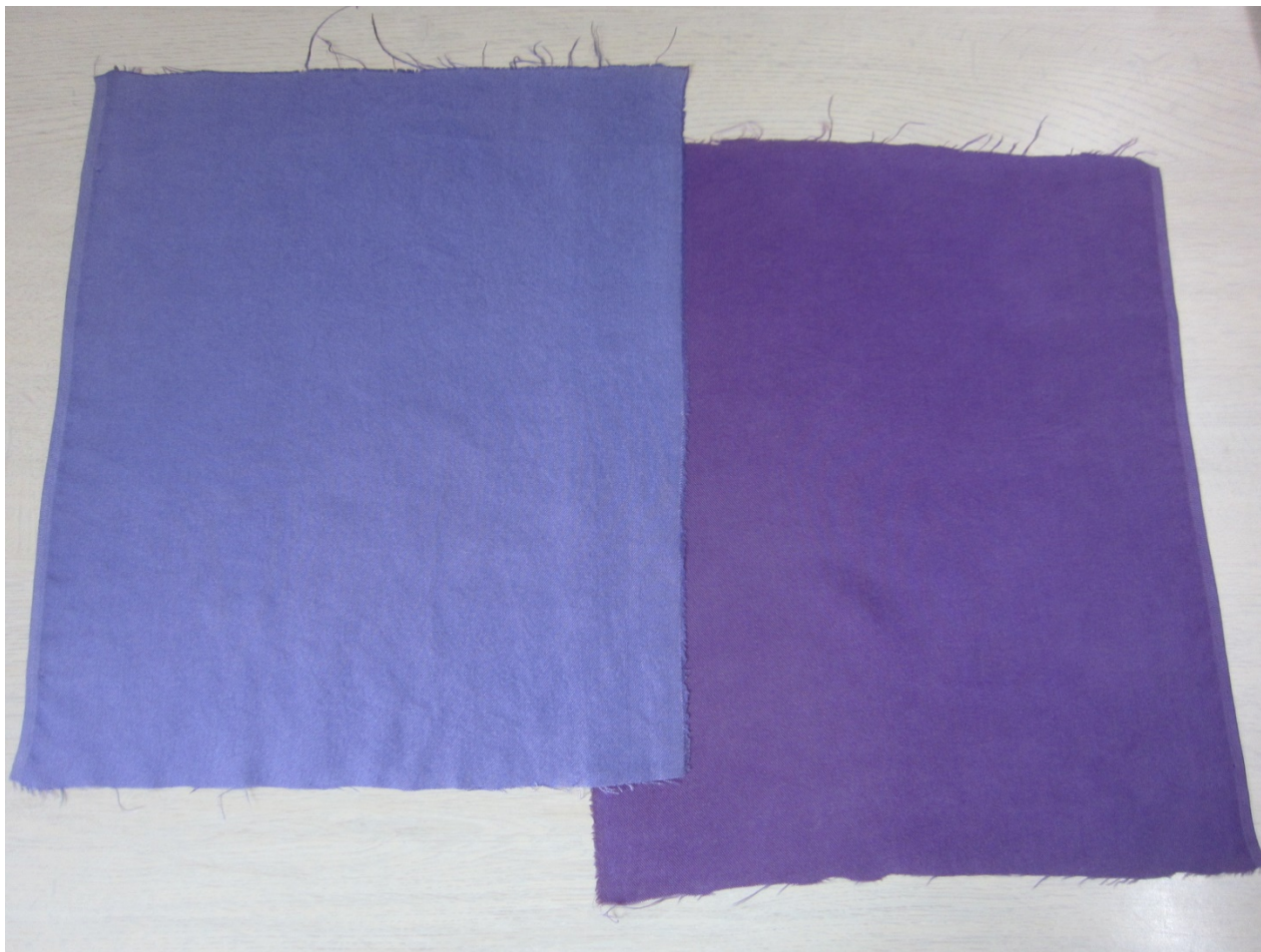
他の地域での取り組み

新日本製薬（岩国研究所）ムラサキの筒栽培

紫根と紫雲膏



伝統的な紫根染



サンプル提供：鹿角紫根染研究会

ムラサキの栽培・2012年

- **圃場視察が続く**

製薬会社・大学等が圃場視察

- **ムラサキに関する市場調査を実施**

用途：医薬品、化粧品、染料、その他

- **製薬会社等にサンプル提供**

成分分析等の評価

在庫の山→栽培と販売は車の両輪

ムラサキの栽培・2013年

- **当別薬用植物栽培研究会を設立**
北海道医療大学など地域連携
- **生薬学会でブース展示(北海道医療大学)**
製薬会社・大学から問合せ
- **農水省・薬草北海道ブロック会議(札幌)**
製薬会社からの引き合い

ムラサキに関するシンポジウム(名古屋)

当別薬用植物栽培研究会

地区別会員（栽培農家）

弁華別	1戸	対 雁	1戸	上当別	2戸
青 山	1戸	蕨 岱	1戸	ビトエ	1戸
金 沢	2戸	川 下	2戸		
中小屋	1戸	若 葉	2戸	全地区合計	14戸

役員及び事務局

会 長	佐藤 彰	北石狩農業協同組合 代表理事組合長
副会長	辻野 浩	株式会社辻野商店 代表取締役
事務局	一般社団法人	当別新産業活性化センター

連携機関

- ・北海道医療大学
- ・石狩地区農業改良普及センター北部支所
- ・当別町
- ・北石狩農業協同組合
- ・株式会社辻野商店

※設立当時の構成

ムラサキの栽培・2014年

- **製薬会社との契約**

A社、B社

- **紫根の販売を開始**

化粧品会社、染物組合、...

- **乾燥機の導入・収穫の機械化**

栽培ノウハウのマニュアル化

ムラサキの栽培・その後

- **積極的な情報発信**

展示会、講演会、会社訪問、・・・

- **マスコミ等が着目**

NHK「おはよう北海道」、テレビ北海道「けいざいナビ」
北海道経済連合会「道経連会報」

- **薬用作物地域生産モデル構築支援事業（道庁）**

先進地視察・土壌分析・商品試作

試験栽培から本格栽培へ（安定供給と品質確保）

農協へ事業移管、若い栽培農家の参画、用途ごとの品質確保、・・・

薬用植物産地化の課題

- ・多種多様な薬用植物
 - ・地域の気候・風土
- 

- ・栽培の知識と経験
 - ・安定供給と品質の確保
- 

- ・品質と生産性の向上
- ・薬用植物(事業)の拡大